令和3年度　福井南特別支援学校　学校関係者評価書

（問）（1）学校評価の目標に対する成果（達成度）や結果の分析は適切か。 （2）その他（学校運営全般に関するご意見など）
（意見を聞いた方） 学校関係者評価委員：保護者代表5名、同窓会保護者代表1名、事業所代表1名
（意見欄） （1）目標に対する成果および結果の分析について 〇教育課程・学習指導 ・個人別に目標を決め達成できていることは先生方の努力のおかげだと思う。今後も継続していってほしい。 ・担任の先生と毎日ノートを通じて子どもの様子を詳しく知ることができている。1年生の時は気持ちをコントロールすることが難しかったが、3年生になりとても落ち着いて生活できるようになった。先生方が親身になり子どもに接してくれたので、信頼して子ども、親ともども成長できたと思う。 〇保健防災安全 ・正しい手洗いやマスク着用についてポスターや動画を見ることで生徒の感染症対策の意識向上につながったと思う。 ・防災だよりを発行したり、学校 HP に訓練の様子を掲載したり、避難訓練や防災研修を教職員対象で行っていて、いざ災害が起きたときの備えができているように思う。 〇地域交流 ・「本校児童生徒がねらいに即した地域との関わりをしていたと感じることができた」が100%、とても素晴らしい。今後とも充実させていってほしい。 〇全体（総括） ・判断基準が全て達成されており、日頃の取組が満足のいく結果につながっていることが分かる。実際に、学校生活を通して手厚く支援いただいていると感じる。 ・保護者と教職員の評価の数値がほぼ同じであり、取組への認識は大きなズレがないように思う。
（2）その他（学校運営全般について） ・研究や交流などでオンラインやリモートを取り入れていて、コロナ禍では必要なものだからとても良いと思う。 ・コロナの感染拡大で授業公開日が中止となってしまい残念だった。今後も子どもの学校での姿を見る機会は少なくなると思うが、その分学校と家庭での情報共有が大切になってくると思う。 ・コロナ禍で直接話をする場が減っている中、学校側は精一杯連絡帳や懇談会で子どもの成長やこれからの課題などを伝えてくれていると思う。 ・「新型コロナウイルス」へ対する対応の難しさというのがあり苦慮されているところだと思う。感染拡大防止と児童生徒の経験の機会の保障と、バランスを取りながら今後も教育活動に取り組んでいってほしい。 ・コロナでいろいろな行事ができなかったが、修学旅行など工夫をして対応してくれたのが良かった。 ・毎朝スクールバスを利用している。福井ルートと鯖江ルート、分けて運行されたことにより、待ち時間も少なく、特に冬季期間はとても助かっている。
（学校関係者評価を踏まえた今後について） ・次年度も感染症に対して緊張感をもって対応していく必要があるが、児童生徒が楽しく学校に通ってこれるように工夫しながら、教育活動を行っていきたい。